

文学の散歩道 入選作品 神無月（十月）

短歌

我だけにあらずと耐える病院の
悲喜こもごもや彼岸花咲く

高木 都人

名月が結んでくれた縁にて
並んで見ゆるしばし佇み

守山市 小島 京子

ここへ来てやっと命を繋ぐ風
人取り戻す秋の夕暮れ

小南 木楽蜻蛉

俳句

二十二度そつとかけ寄る里の秋
からくりや拍手広がる秋祭り
神水汲むずいき祭の御霊代

守山市 小島 京子
近江富士 中村 城啓
三上 櫻木 博子

川柳

「銀」となり選手の無念貰い泣き
誘われて猫とお茶飲む午前四時
プランクトン日本附近は住みにくい

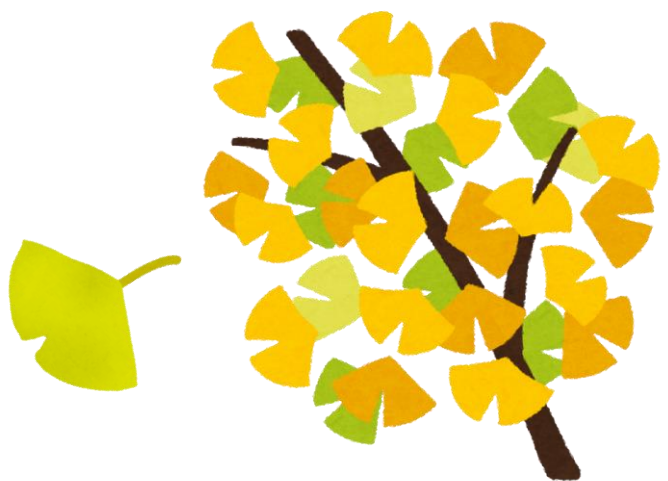
近江富士 中村 城啓
高木 都人
守山市 折目 恭子

冠句

（秋に入る）

秋に入る 味覚が誘う道の駅
秋に入る 胃袋愚痴を洩らし初む
秋に入る カーンカーンとボール冴え

竜王町 小森 和美
小南 木楽蜻蛉
小南 泉 歌子



次回 霜月（十一月）の題目

冠句【栞抜く】

お問合せ 文化スポーツ振興課

電話：〇七七（五一六）四五六八